

配達型ボランティアでまちおこしを 学生を利用した配達サービス

Revitalization of the town with delivery-type volunteers

Student-based delivery service

グループ名：國島ゼミ第1グループ

学生氏名： 大橋直輝, 加藤一真, 原田里桜, 富原航路

指導教員 國島弘行

創価大学 経営学部 経営学科 國島弘行ゼミナール

キーワード：八王子、まちおこし、学生

1. はじめに

八王子市の人口は、約 56 万人（令和 4 年 6 月末時点）となっており、東京都内で 8 番目に人口が多い市となっている。そんな八王子市だが、平成 22 年以降人口が増加せず、横ばい状態となってしまっている現状にある。様々な原因が存在するが、その一つとして、八王子市に住む学生の八王子の就職率などが挙げられる。根拠として、図 1 の八王子市の人口の推移グラフを見ると、特に 20 代前半の人口は多いが、20 代後半の人口は少ないということが読み取れる。このグラフの波形は毎年同じ形でみられる。このことから、特に若者を巻き込んだ配達サービスでまちづくりを行うことができれば、人口減少を改善できるのではないかと考えた。

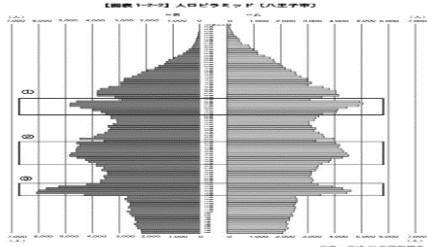


図 1 八王子市の年齢別人口構成比

出典「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/001/001/001/p007376_d/fil/sougousenryaku.pdf

2. 八王子の現状

図 1 からわかるように八王子市に住みたい理由と住みたくない理由を調べたところ、住みたい理由、住みたくない理由ともに交通について、買い物について述べられており、矛盾していることがわかる。この理由として、地域によって、交通に便利な場所、不便な場所が分かれていることが分かった。この問題点として、交通の便に差が発生していることがわかる。また、そのような交通空白地域に対して、八王子市は図 2 のような、「はちバス」とよばれる公共輸送システムを行っていることがわかった。我々は今回の提案によって、このような八王子市の現状を改善できればと考えている。



「住み続けたい」と回答した理由は、「交通の便が悪い」が 44.0% と最も多く、「買い物に不便」、「市内に住みたいまとがある」が続いている（図表 1-3-15）。



図 2 八王子市に住みたくない理由

出典「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/001/001/001/p007376_d/fil/sougousenryaku.pdf



図3 はちバス

出典「はちバス写真館」

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/life/001/002/004/p006869.html>

3. 提案

本提案では、八王子市全体を対象に、特に交通の便が悪い地域に住む方々の買い物を学生がボランティアという形で代行するといったサービスを考えた。このサービスを行うまでの目的と致して、まず八王子市の住みやすさという部分の向上を図ることにより、住みたくない理由が改善されることで住民が八王子に対する満足度を増加させることによって、人口の流出を防ぐことによって、人口減少を緩和していくといったものである。内容として、そのボランティアを知つてもらうためにSNSやチラシを活用する。また、専用のホームページをつくる。専用のホームページでは、このボランティアを参加したい学生とサービスを受けたい人が登録する。地域ごとに買い物をするスーパーマーケットを限定して、そこにある商品をホームページに載せる。そこで配送を頼みたい人はホームページを活用することで学生に連絡がいくようになる。そこで連絡を受けた学生は買わなければならない商品をホームページで確認し、買い物を行い、荷物を配達する。このボランティアが機能することによって、八王子市における、現状の問題点を改善せることを考えています。このサービスを学生が行うメリットと致しては、学生のうちにボランティア活動をすることによって就職活動の際の「ガクチカ」に書く内容が増えるという点があげられる。

4. 課題

本提案の課題点は大きく3点存在する。

①配達する学生が事故を起こしてしまった時の対

応。

②配達する荷物に間違い(料金問題)などが起きる場合。

③サービスの構築、事故に対応するときなどの資金の確保(資金調達)

5. おわりに

本提案では八王子の人口問題の糸口になる方法について、買い物が不便な地域に配達サービスを行うことで住みやすい街をつくることによって、人口流出を防ぎ人口減少につながると考えている。また、本提案において、サービスの構築に関して様々な課題があることが分かった。そのことから、我々はこれまで以上に八王子についての研究、リサーチが必要であると考える。そして、本提案をより良いものにすることを目指していきたい。

<参考文献>

・ 住民基本台帳 町丁別年齢別人口

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/hachiouji/jinko/005/index.html>

・ 八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略

https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/01/001/001/p007376_d/fil/sougousenryaku.pdf

・ はちバスの概要

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/life/001/002/001/p006864.html>